

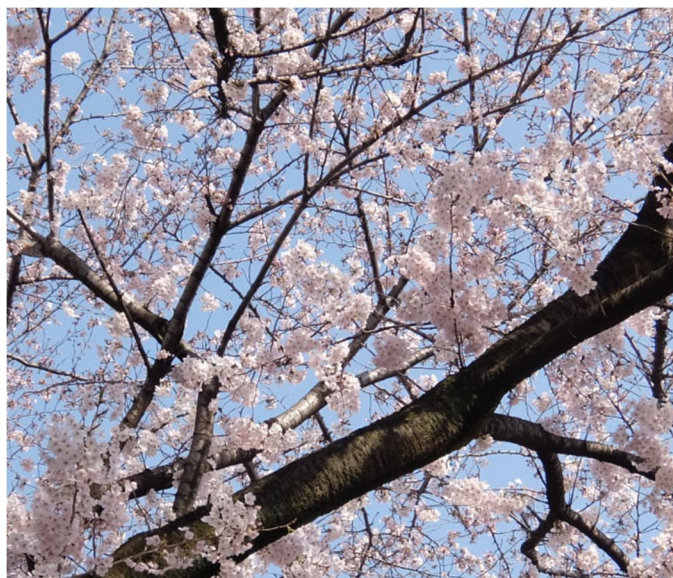
「桜通勤 2017 (最終回)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

職場の近くにも、桜の名所は多い。教育の森公園もその一つだ。公園をとりまく遊歩道の桜は、特に見事で、小石川植物園まで行かなくても、十分に花見ができる。



よく晴れた日なら、桜の樹を下から見上げてみると良い。それにしても、どうしてこんなに一時に咲いてしまうのだろう? ちょっと惜しい気もする。



少し戻って、これは安藤坂の桜だ。安藤坂は、神田川の大曲交差点と、伝通院前交差点を結ぶ坂で、武蔵野台地の東端の段丘崖に相当する。自転車で上ると、結構キツイ坂道である。しかし、かつてこの坂には都電が走っていた。こんな急な坂を、鉄道車両が上れるなんて、本当に不思議である。



最後に職場の手前に、もう一つ見逃せない桜がある。春日通り沿いにある、作楽会館と桜蔭会館の桜だ。作楽は「さくら」と読む。桜蔭はまさしく桜の下である。いずれも、桜の時期が一番美しい。この桜の下を、本校の児童も、毎日通学している。今朝は雨だったが、通学カバンの上に、桜の花びらをのせてきた子どもがいた。きっとこの樹の下を通過してきたのだろう。その3年生の子は、その一枚の花びらを手のひらにのせて、「先生、あげる」と言った。